

# 第11回日本糖尿病医療学学会 ワークショップ「戸惑いと成長の医療学」



医療者は、「医療」として患者に「医学」を手渡していく過程の中で、多くの「戸惑い」を経験します。昨年の本企画では、6名の演題発表者に、医療者・医学生としての「戸惑い」についてお話を頂きました。医療者の「戸惑い」というデリケートなテーマであり、発表者と参加者の双方にご回答頂いた事後アンケートでは、企画内容について率直で大切なご意見を多数頂きました。昨年の経験をふまえ、まずは様々な立場にいる医療者自身の思いが受け止められる場が必要であると考え、今年の本企画の目的を、①医療者として働く中での「モヤモヤ」の共有、②多職種の交流、としました。その場で生じるであろう「問い」について考えていく中で、戸惑いだけでなく成長の種のようなものが生まれるかもしれません。皆様のご参加をお待ちしております。



- 日時：10月12日（土）午後1時15分～2時45分
- 場所：京都大学百周年時計台記念館 会議室Ⅲ
- 対象：第11回日本糖尿病医療学学会参加者
- 定員：18名（事前申込制）

※定員を超えた場合は職種の多様性を確保できるように調整させていただきます。

- ワークショップの目的：

①医療者として働く中での「モヤモヤ」の共有 ②多職種の交流

- 内容：

1. 導入

2. グループワーク：1グループ3名で、それぞれの「モヤモヤ」を話す

※患者さんと接していて、他職種とかかわっていて、あるいは医療そのものについて等、医療者として感じる「モヤモヤ」であれば、どんな「モヤモヤ」でもOKです。

3. まとめ

- ファシリテーター：

森崎志麻（きしメンタルクリニック）・岡崎研太郎（九州大学）

小比賀美香子（岡山大学）

- 申し込み締め切り：9月20日（金）

- 申し込み方法：

▼こちらからお申込みください。

<https://forms.gle/JyHemn5SXUebLRn28>

